

日本教育方法学会 第50回記念大会

大会校企画「世界の授業研究」

主催 日本教育方法学会(NASEM)

共催 広島大学学習システム促進研究センター(RIDLS)



日時

2014年10月10日(金)14時～17時

会場

広島大学大学院教育学研究科第三・四会議室
(管理棟2階)

- ▼「世界の授業研究」がどのような背景のもとで、どのように展開されてきているのか、本企画は、小山氏、ルイス氏、リム氏からそれぞれ「授業研究」の実際の紹介をしていただき、それぞれの提案者の背景や問題意識、研究の取り組みなどを深めていきます。
- ▼本企画は、広島大学教育学研究科「学習システム促進研究センター(Research Initiative for Developing Learning Systems: RIDLS)」の共催のもとで、学会員の皆さまはもちろんのこと、同企画に関心のある方にもご出席いただける趣旨で企画しております。
- ▼当日の会では、提案者より、授業研究の様子に関して、具体的なVTRや写真を用い、報告者の経験や各国の教育背景などをご報告いただきます。

プログラム

司会進行: 池野 範男(広島大学)
木原成一郎(広島大学)
(英語通訳付)

14:00～14:10	企画説明
14:10～14:40	小山先生 VTR と説明
14:40～15:00	質疑応答
15:00～15:30	ルイス先生 VTR と説明
15:30～16:20	リム先生 VTR と説明
16:20～17:00	質疑応答

参加登録不要



小山 正孝

教授、博士(教育学)。
広島大学大学院教育学研究科副研究科長・教育学部副学部長に加えて教育研究評議会評議員を併任。
主な研究分野は数学教育方法学、数学教育学、数学教育心理学等。



Catherine Lewis

Currently director of lesson study research projects funded by NSF and IES and a senior research scientist at Mills College. Catherine Lewis comes from four generations of public school teachers. Fluent in Japanese, she has conducted research in Japanese and U.S. schools for 25 years.

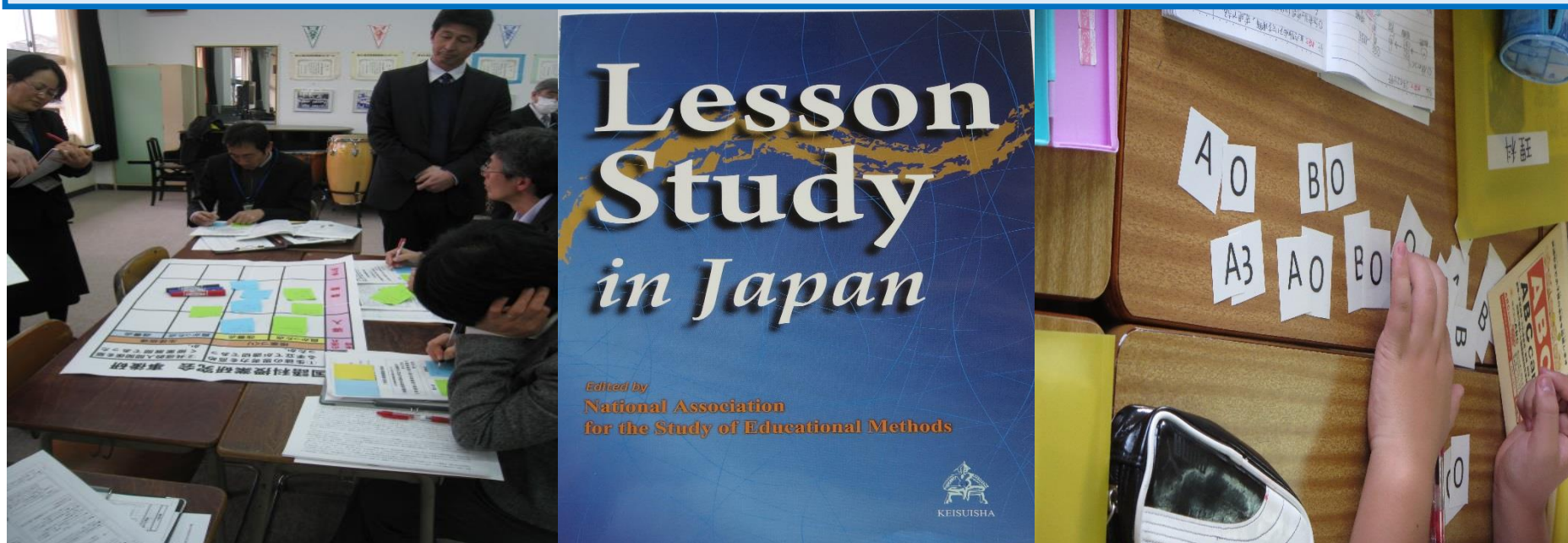


Edmund Lim

Edmund Lim W. K. is a Director of Educare International Consultancy. Educare is the co-operative of the Singapore Teachers' Union, the largest teachers' union in Singapore. This year, Edmund has conducted workshops and talks for school leaders from Russia, Singapore, Hong Kong, Indonesia and the Philippines.



教育方法学をデザインし直す —Lesson Study in Japan をめぐって—



日時

2014 年 10 月 11 日(土)15:50~18:20

会場

広島大学教育学部 L205 講義室

▼司会者

大野 栄三(北海道大学)
久野 弘幸(名古屋大学)

▼提案者

的場 正美(東海学園大学)

日本の授業研究は、今なにが問われているか

Rethinking the Dilemma of Lesson Study: Accountability and Professional Responsibility

Catherine Lewis(Professor, Mills College, Oakland, CA, USA)

Lesson Study in the United States: Implications for Japan?

アメリカにおける授業研究: 日本への示唆

Edmund Lim (Director of Educare International Consultancy,
Educare Co-operative Limited)

Lesson Study & Its Growth: Points to consider for the
journey ahead

授業研究とその発展: 将来の旅路を考える上での要点

小山 正孝(広島大学)

日本における授業研究 —数学教育事例—

Lesson Study on Primary Mathematics Education in Japan

趣旨

明治時代からの伝統を有する日本の授業研究は、Lesson Study として 1990 年代以降、世界各国に広がり、各国の文脈で多様な授業研究が展開されている。

そうした状況をふまえ、日本教育方法学会は『日本の授業研究(上・下)』を学文社より 2009 年に、それをもとにした英語版“*Lesson Study in Japan*”を溪水社より 2011 年に刊行した。それらの成果をもとに、本国際シンポジウムでは将来の授業研究と教育方法学を展望するために、世界で進展している授業研究の知見とこれまでの日本の研究蓄積を視野に入れながら、日本の授業研究の理論、理念、内容、方法、手法を多様な視点から捉えなおす。

的場氏は趣旨を説明し、小山氏は数学教育の授業研究を紹介する。日本の授業研究を他の国の経験からとらえ直すために、国際的に著名な2人の方をお招きした。アメリカにおいて Lesson Study を展開しているルイス氏は、アメリカの授業研究から日本の授業研究にとっての意味を問い直す。国家規模で授業研究を展開しているシンガポールのリム氏のタイトルの journey には終わりのない継続的な改革の意味を読み取ることができる。彼は、そのような授業研究の発展と将来を考える上での要点に焦点を当てる。

自由参加・
参加登録不要